

2023年3月期  
第1四半期  
決算説明資料

株式会社ヨシックスホールディングス  
(証券コード：3221)

---

1. 会社概要	・ ・ ・ ・	1
2. 2023年3月期	1Q連結決算概要	・ ・ ・ 7
3. 今後の取り組み	・ ・ ・	13

---

# 会社概要

社名 株式会社ヨシックスホールディングス

設立 1985年4月1日

所在地 愛知県名古屋市東区徳川1丁目9番30号

代表者 代表取締役会長兼社長 吉岡昌成

資本金 335,989,000円 (2022年6月30日現在)

上場市場 東京証券取引所プライム市場  
名古屋証券取引所プレミアム市場

関連会社 株式会社ヨシックスフーズ (飲食事業)  
株式会社ヨシオカ建装 (建装事業)  
株式会社ヨシックスキャピタル (投資事業)

店舗数 324店舗 (2022年6月30日現在)  
▶ 直営 320店舗  
▶ フランチャイズ (社員独立制度) 4店舗

### 【企業理念】

赤ちゃんからおじいちゃん、おばあちゃんまで楽しくすごせる  
心・食・居を演出する

心・・・「心温まる」存在感を持つ企業  
食・・・「元気」をお持ち帰りいただける企業  
居・・・「居心地」の良さを提供、創造できる企業

### 【社是】

あたりまえやを当り前に

- ・元気な声だし
- ・清潔感
- ・笑顔の接客

### 【や台やグループ基本理念】

元気を持って帰ってもらう店なんやで

や台やグループは飲食業を通じて、社会における存在意識を常に考えています

- 直営店を中心に、**324**店舗の居酒屋を**関東以西の幅広いエリア**に展開

## や台ずし：285店舗 (フランチャイズ店3店舗含む)



本格職人  
にぎりずし居酒屋



## ニパチ (にぱち含む)：29店舗



280円均一  
低価格居酒屋



## や台や：2店舗 (フランチャイズ店1店舗含む)

お好み焼き鉄板焼き居酒屋



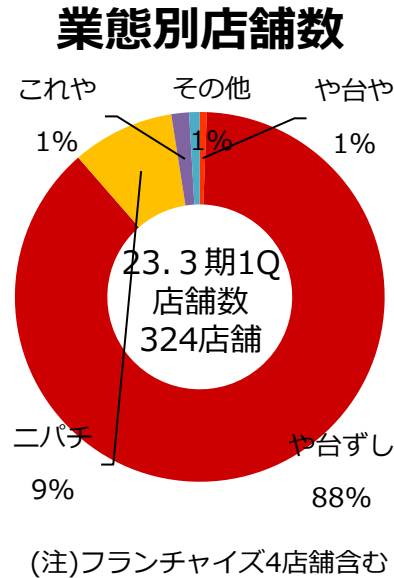
## これや：5店舗

大阪の味・串カツ居酒屋



## その他：3店舗

せんと てっぱん



- Uber Eats、出前館を活用した**デリバリー**を展開
- 従来より「や台ずし」では**テイクアウト**にも注力

店舗を作る為に必要な全てを**包括的**に、しかも**低コスト**で提供

## 業界随一の機動力

スピーディーな  
出店・業態転換

低コストの  
出店

多様で柔軟な  
業態開発

### “困った！をよかった!!に”

- ・店舗の設計・施工管理を中心に、飲食店や事務所等の建装事業を展開しております。
- ・グループ企業である株式会社ヨシックスフーズの店舗において多数の設計・施工管理実績を有しています。
- ・グループ外の企業からも積極的に受注しております。

#### <施工例>



80年…ヨシオカ建装を創業、建装事業を開始

83年…ヨシオカ建装を設立

85年…テナガロンキッド設立  
同年…ベストフードに社名変更

90年…ヨシックスに社名変更

98年…や台や1号店(名古屋市押切店)

00年…や台ずし1号店(名古屋市葵店)

02年…関東進出(や台ずし立川錦町店)

04年…関西進出(や台ずし寺田町店)

07年…九州進出(や台ずし夜店公園町)

07年…ヨシオカ建装を吸収合併

09年…二パチ1号店(埼玉県)

12年…山陽進出(や台ずし銀山町)

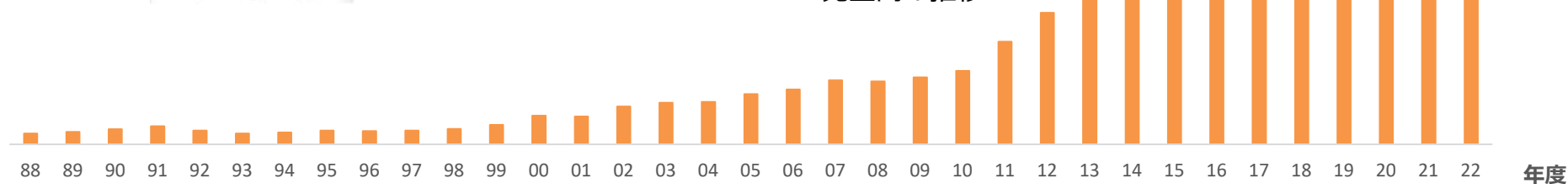
16年…四国進出  
(や台ずし松山市駅前町)

21年…持株会社体制へ移行

22年…北陸進出(や台ずし金沢本町)



売上高の推移



← や台や・や台ずし中心 →      ← 二パチ中心 →      ← や台ずし中心 →

← バブル時代 →      ← 失われた10年 →      ← 小泉改革 →      ← ポスト小泉 →      ← 安倍改革 →  
 87年、国鉄民営化      95年、阪神淡路大震災      98~00年、ITバブル      05~06年、ライブドア事件      11年、東日本大震災      16年、熊本地震  
 85年、プラザ合意      97年、拓銀、山一証券倒産      02年、日韓W杯サッカー      08年、リーマンショック      12年~アベノミクス

89年、消費税導入、日経平均38,957円

20年~新型コロナウイルス感染症拡大



2023年3月期  
第1四半期  
連結決算概要

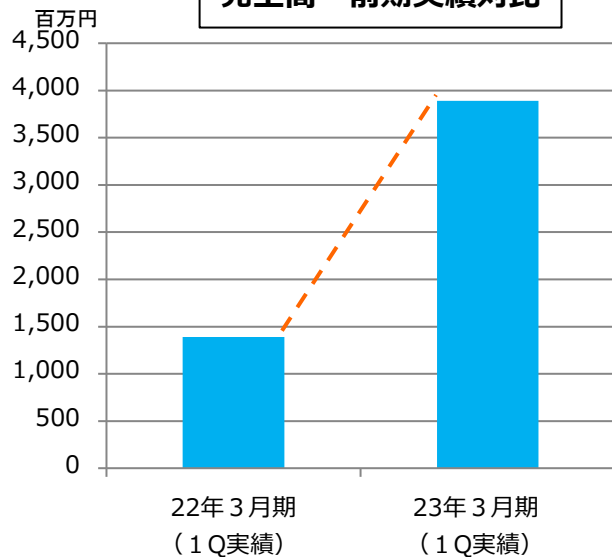
## 新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、徐々に回復基調へ

- ・ 3月下旬以降の「まん延防止等重点措置」の解除に伴い、4月以降徐々に通常の日常生活に戻っていく中で店舗への来店客数も増加し、売上高も新型コロナウイルス感染拡大前に戻りつつありました。
- ・ 外食産業に対する要請に従うことを条件として、「新型コロナウイルス感染拡大防止協力金」が支給されますが、その入金がこの第1四半期にもあり、経常利益が大きく増加しました。

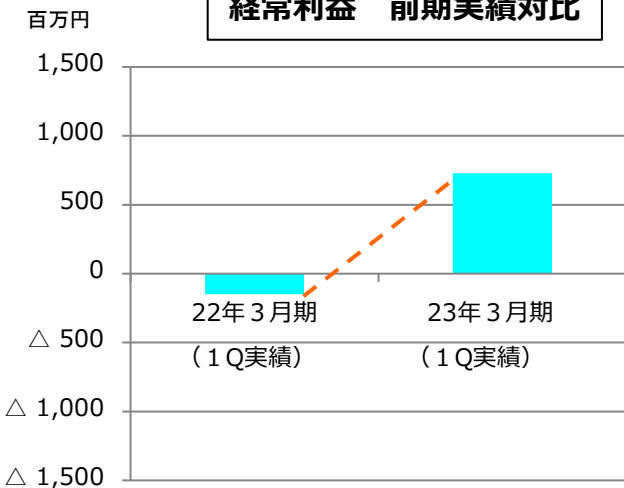
(単位：百万円)

	22年3月期 第1Q実績 (売上比)	23年3月期			通期	
		第1Q実績 (売上比)	前期比		予想 (売上比)	予想進捗率 %
			差額	%		
売上高	1,390	<b>3,889</b>	2,499	279.8%	16,093	24.2%
営業利益	△ 1,115	<b>121</b> (3.1%)	1,236	—	1,097 (6.8%)	11.0%
経常利益	△ 148	<b>729</b> (18.7%)	877	—	2,051 (12.7%)	35.5%
当期純利益	△ 72	<b>509</b> (13.1%)	581	—	1,333 (8.3%)	38.2%
1株当たり純利益	△ 7.03円	<b>49.46円</b>	56.49円	—	129.14円	38.3%

売上高 前期実績対比



経常利益 前期実績対比



## コメント

- ①前期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止観点での自治体の要請による、店舗の休業、時短営業実施により、売上が大きく減少しましたが、当期は、各種要請の解除に伴い、休業店舗の営業再開、時短店舗の営業時間延長により、来店客数も増加し、店舗での売上が大幅に増加しました。
- ②定期的なメニュー変更に伴う価格改定、ハーフサイズメニュー導入等による一人顧客のオーダー数増により、客単価の上昇を実現し、売上高の増加に繋がりました。
- ③M&Aにより買収した芝産業については、当期の売上への寄与は約2億円となりました。

## コメント

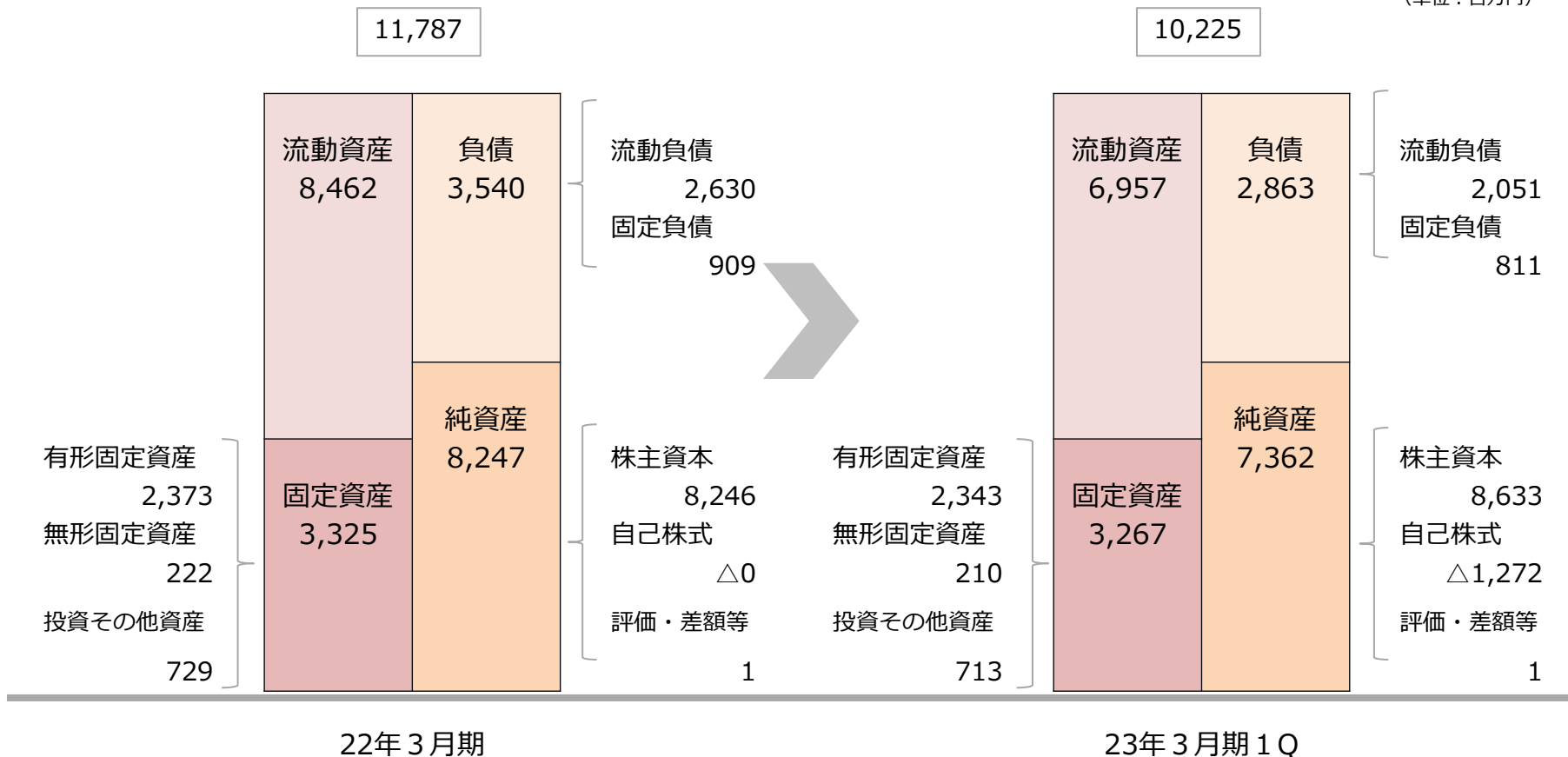
- ①食材価格の高騰に対しては、幅広いエリアの店舗展開における地域での仕入先ルートも活用し、高品質かつ低価格な仕入れに注力するとともに、主力商品であるすしメニューの一部値上げ、居酒屋メニューの定期的変更（年4回実施）に伴う価格改定により、食材価格の上昇に対応した原価率の維持・改善に注力しました。
- ②新型コロナウイルス感染症拡大防止協力に対する自治体からの協力金、雇用調整助成金の入金により、経常利益が大幅に増加しました。

## 総資産合計が1,561百万円の減少

### 【純資産】

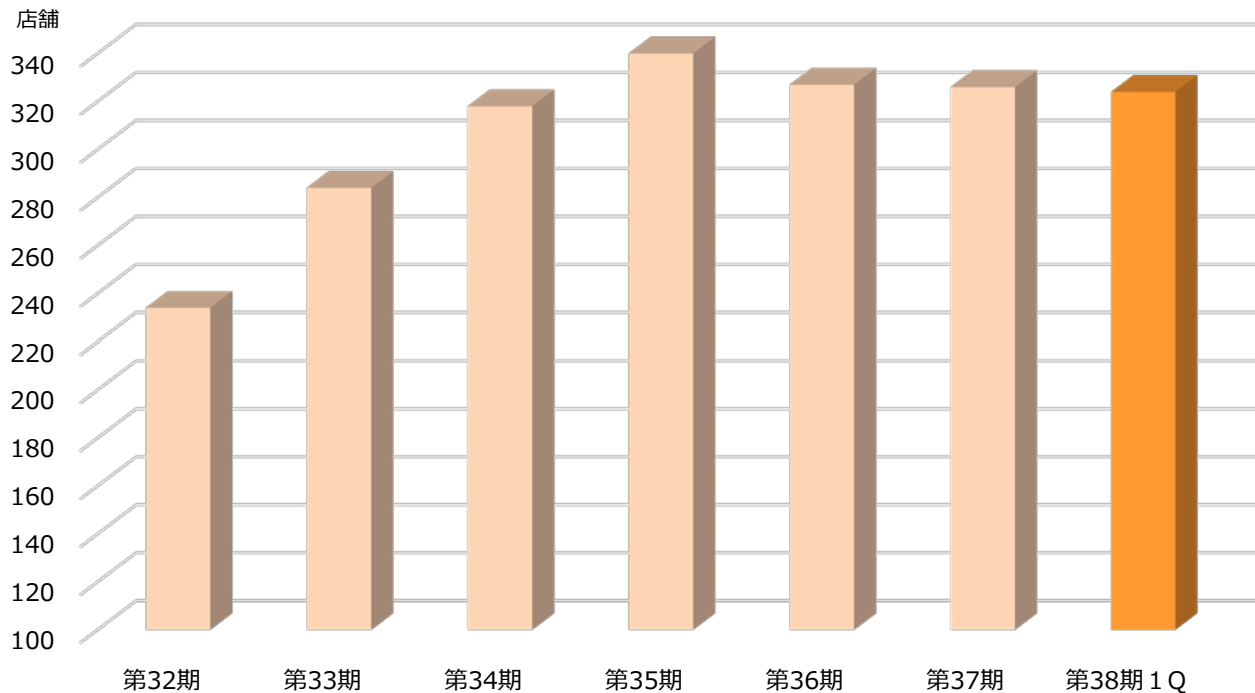
- ▶ 流通株式比率の向上のため、株式需給緩衝信託を実施し、自己株式が1,271百万円増加したことで純資産が減少しました。

(単位：百万円)



(注) 株式需給緩衝信託とは、流通株式比率の向上を目的として大株主から売却される株式を念頭に、会社が拠出する資金を原資として東京証券取引所の立会外終値取引 (ToSTNeT-2) により株式を取得し、その後、株式の市場需給に与える影響を極力回避する方法で株式を売却する信託契約をいう

店舗数の推移



## コメント

新規出店 2 店舗を実施  
「や台ずし」 2 店舗

- ・ 閉店撤退 4 店舗を実施
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、再開後も売上が見込めない店舗につき、人材の効率的な活用のため、業績下位の店舗を閉店
- ・ 新規出店は当初の計画通り 37 店舗実施する予定

第32期	第33期	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期 1Q
234店	284店	318店	343店	327店	326店	<b>324店</b>

店舗名（仮称含む）	住所	オープン予定日
や台ずし静岡駅南口町	静岡県静岡市駿河区南町14-25	2022/8/4
や台ずし京成佐倉駅前町	千葉県佐倉市栄町18-6	2022/8/9
や台ずし瓢箪山駅前町	大阪府東大阪市神田町1-3	2022/8/26
や台ずし西千葉駅前町	千葉県千葉市中央区春日2丁目23-5	2022/8/31
や台ずし呉中通町	広島県呉市中通4丁目1-4	2022/9/6
や台ずし宮原駅前町	埼玉県さいたま市北区宮原町3丁目337-3	2022/9下旬以降
や台ずし浜松モール街町	静岡県浜松市中区千歳町99-1	2022/9下旬以降
や台ずし姪浜駅北口町	福岡県福岡市西区姪の浜4丁目10-20	2022/9下旬以降

（注）物件契約済の案件を列挙しております。

# ヨシックスグループ 今後の取り組み

**わたくし達は、**

**3,000店舗、売上高1,800億円、**

**日本一の居酒屋チェーンを目指します！**



## 【中期経営目標】

- ・ 500店舗
- ・ 売上高300億円

- ・ 事業部の確立
- ・ 「田舎戦略」、「老舗理論」及び「地域リスクヘッジ」の徹底
- ・ 既存店売上高を100%維持

- ・ 経常利益率10%超

- ・ 売上高家賃比率の7%台を維持
- ・ かけるコストを徹底し、かかるコストは削減
- ・ グループ建装企業の有効活用

## 「田舎戦略」とは

- **年間を通して一定以上の安定的な居酒屋需要が見込める地域に**
  - 東海道、山陽、九州新幹線に隣接する市町村
  - 乗降客6千人以上の駅前かつ、**従業員の雇用が可能**な地域
  - 直営店を出店
- 「老舗理論」にもとづく30~40坪程度の中小型直営店舗を低コスト出店し
- 地元店、チェーン店と競合せずに地域一番店を目指す戦略



事業活動を通じ、**地域の発展・再生**にも貢献

- 大企業と個人店の**良いところ取り**をするとともに、
- 両者と競合しない隙間を突き、**地域一番店**へ

### 地域密着の安定的な利益

#### 地元個人店・小型店の優位性

- 居心地の良さの演出
- 店舗で手作りする美味しさと暖かさ
- 客席が埋まりやすい中小型の店舗
- 現地雇用、現地調達

~~個店経営、家族経営~~  
~~曖昧な価格設定、付け払い~~

### 効率性と規模の利益

#### チェーン店・大型店の優位性

- 気軽に来店できる明朗会計
- 大企業の持つシステム統制
- 教育制度

~~セントラルキッチン~~  
~~マニュアル接客~~  
~~店舗夫型化~~



**地域に賑わい**を取り戻す

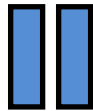
他社

・他社は高い家賃比率を賄うために、原価を徹底的に抑制する



・他社は家賃が高いエリアに大規模店を出店している場合が多く、固定費たる家賃比率が10%を超過

10%超



集客力が弱まり、坪当たり売上が低下することで効率的な利益の獲得ができない

低利益率

売上高	
売上原価	
<hr/>	
売上総利益	
・	
・	
地代家賃	
・	
・	
<hr/>	
販管費	
<hr/>	
営業利益	

当社

・当社は家賃比率を抑制した分を原価にコストをかけて良い商材を使い、お値打ち感を高めている



・当社は戦略的に1.5等地、2等地に中小規模店を出店し、固定費たる家賃比率を7%台に抑制

7%台



顧客満足度の高い料理を提供し集客することで、坪当たり売上が高め、効率的に利益を獲得している

高利益率

## ■田舎戦略の潜在市場規模は**2,777億円**

### 潜在市場規模（当社調べ）

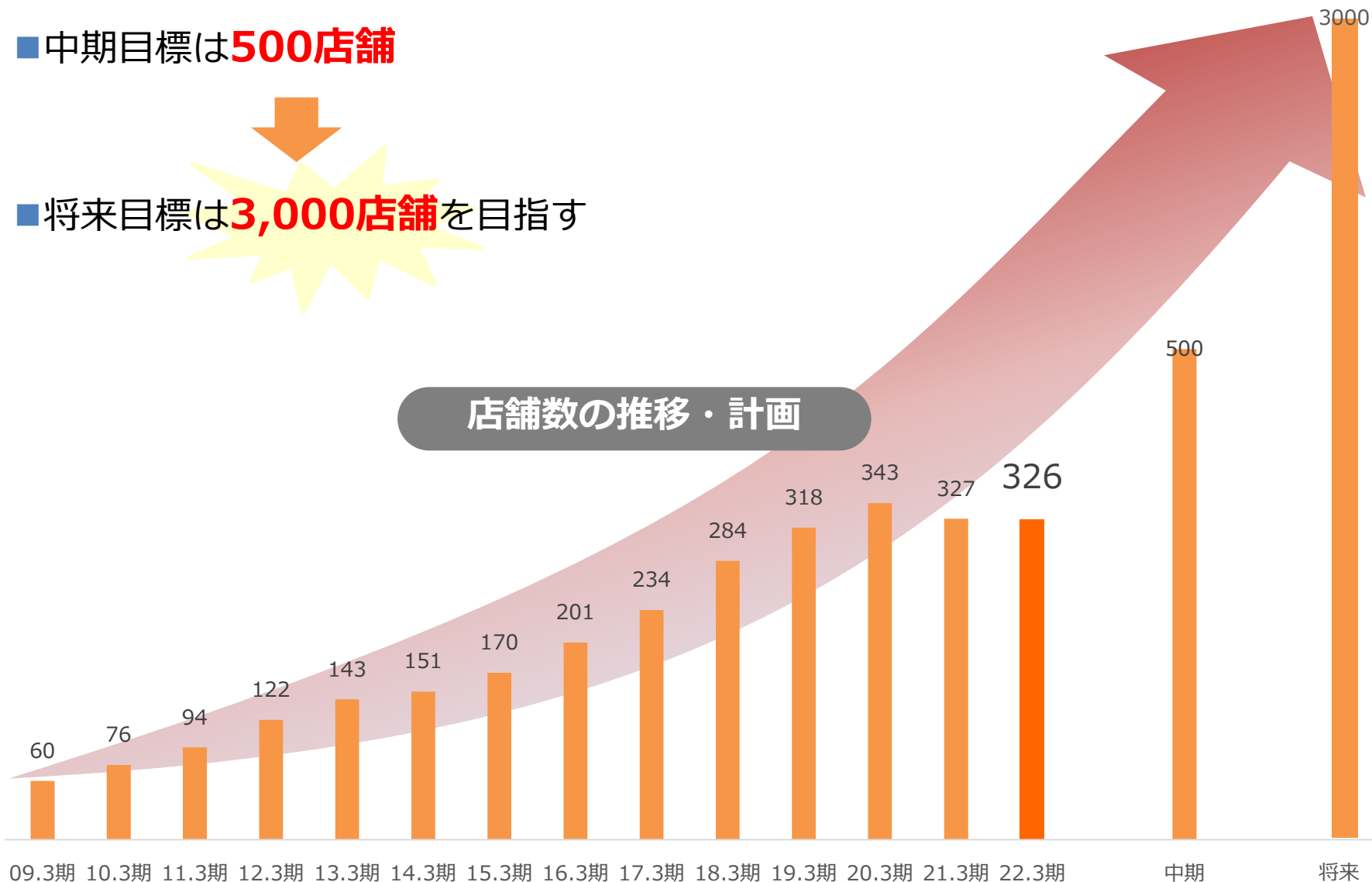
2022年6月末現在

	関東			中部	関西	中四国	九州	合計
乗降客約6千人以上の駅数	1,405駅			210駅	709駅	64駅	123駅	2,511駅
①出店可能店舗数	3,025店			288店	1,101店	75店	149店	4,638店
②平均年間売上高	6,000万円							
想定最大売上高（=①×②）	1,815億円			173億円	661億円	45億円	90億円	2,784億円
③2022年3月期店舗数	114店			49店	61店	48店	52店	324店
出店余地（=①-③）	2,911店			239店	1,040店	27店	97店	4,314店
500店舗構想（事業部別）	関東第一	関東第二	静岡	中部	関西	中四国	九州	合計
今後の出店計画								176店
500店舗構想店舗計画	50店	90店	25店	75店	125店	50店	85店	500店
500店舗構想売上高目標	30億円	54億円	15億円	45億円	75億円	30億円	51億円	300億円

■中期目標は**500店舗**

■将来目標は**3,000店舗**を目指す

## 店舗数の推移・計画



22.3期  
新規出店 8店舗

## 3事業本部体制

### 東日本事業本部

- ▶ 関東第一事業部
- ▶ 関東第二事業部
- ▶ 関東静岡事業部

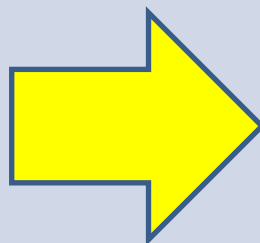
### 中日本事業本部

- ▶ 中部事業部

### 西日本事業本部

- ▶ 関西事業部
- ▶ 山陽事業部
- ▶ 九州事業部

3事業本部から  
2支社体制に集約  
(2022年4月1日付)



23.3期  
新規出店 37店舗予定

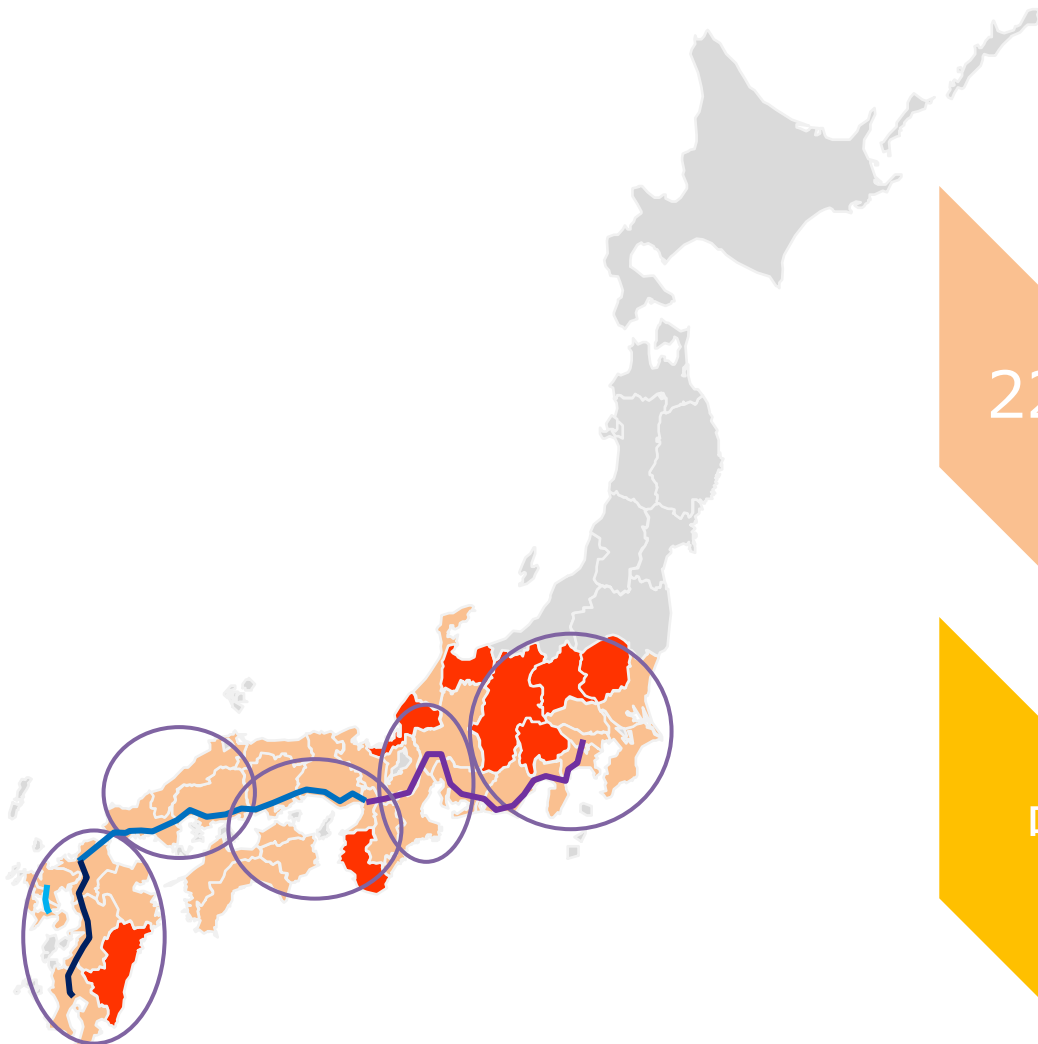
## 2支社体制

### 東日本支社

- ▶ 関東第一事業部
- ▶ 関東第二事業部
- ▶ 静岡事業部

### 西日本支社

- ▶ 中部事業部
- ▶ 関西事業部
- ▶ 中四国事業部
- ▶ 九州事業部



22.3期

- ・ 関東事業本部 116店舗
- ・ 中部事業部 51店舗
- ・ 関西事業本部 79店舗
- ・ 山陽事業部 23店舗
- ・ 九州事業部 57店舗

中期

- 東日本支社
- ・ 関東第一事業部 50店舗
  - ・ 関東第二事業部 90店舗
  - ・ 静岡事業部 25店舗
- 西日本支社
- ・ 中部事業部 75店舗
  - ・ 関西事業部 125店舗
  - ・ 中四国事業部 50店舗
  - ・ 九州事業部 85店舗

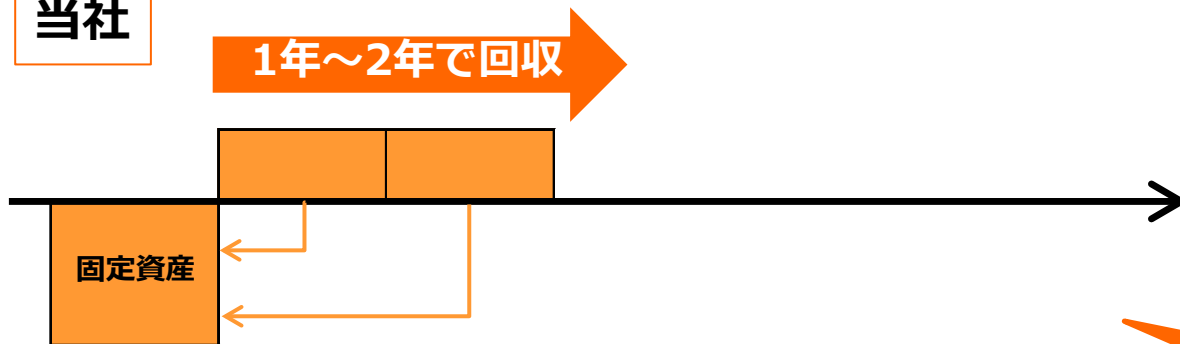
- **地域リスクヘッジ**の考え方に基づく出店エリアの拡大
- **主力業態の強化、新業態の開発**

(注) ■ は今後展開予定の地域となります(栃木県・群馬県・山梨県・福井県・富山県・長野県・和歌山県・宮崎県)。



当社

1年~2年で回収



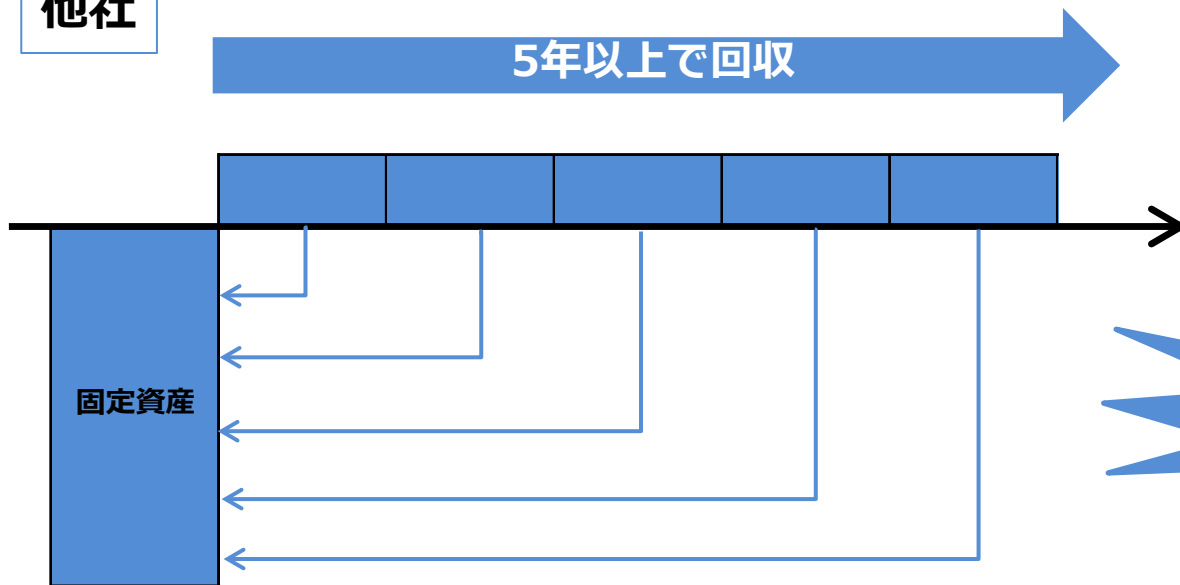
グループ建装企業の有効活用

- ・低コストで出店するノウハウを有しており短期間での投資回収を可能にしている

新規出店・撤退の判断を早くできる

他社

5年以上で回収



外部建築業者に発注

- ・外部業者に建築を発注するため投資コストが割高になり投資回収に時間を要する

新規出店・撤退の判断が遅くなる

第38期スローガン

**絶対に勝つ** ～自分に、ライバルに、そして時代の変化に～

自分に勝つ  
→「当事者意識」を持ち、自分を律して一所懸命に頑張る

ライバルに勝つ  
→社内でも社外でも相手の良い所は素直に取り込む意識を持つ

時代の変化に勝つ  
→変えていく部分と変えない部分絶対的存在価値は不変



ヨシックスグループの中期目標

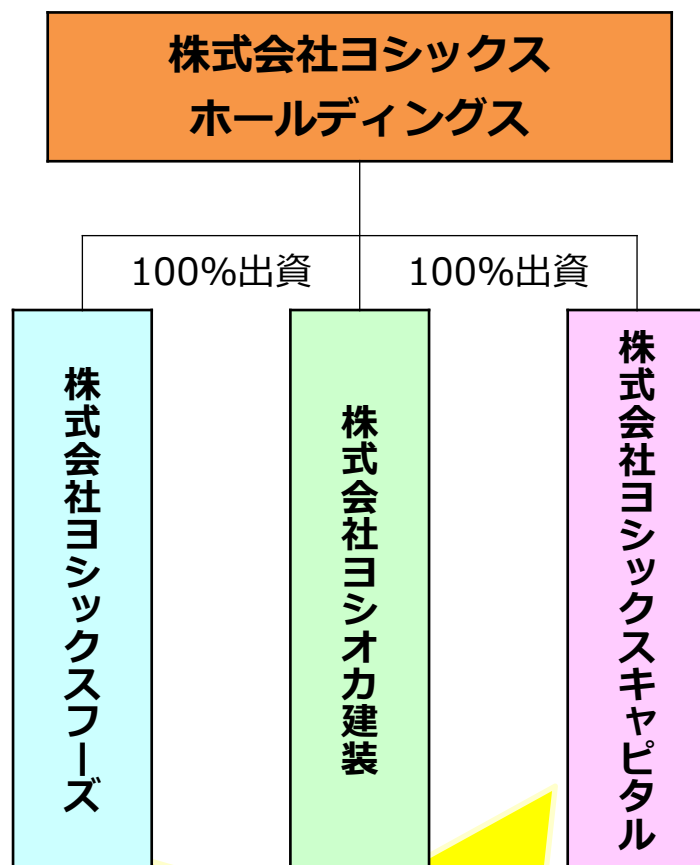
500店舗構想の実現

売上高300億円の達成

経常利益率10%超の継続

第38期  
利益計画・出店計画の達成

持続的な成長を続けていくために、グループ経営体制を強化していきます。



## 株式会社ヨシックスホールディングス

- グループ戦略の企画・立案
- グループ会社の経営指導・管理
- 新事業への進出・創出
- 新会社の設立・M&Aによるグループ拡大

## 株式会社ヨシックスフーズ

- や台ずしを中心とした飲食店の運営
- 飲食事業の企画・立案
- 新業態の開発

## 株式会社ヨシオカ建装

- 内装建築に関する設計・施工管理
- 建装事業の企画・立案

## 株式会社ヨシックスキャピタル

- CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）
- M&A仲介

グループ経営により  
拡大を目指していく

### 【ご注意事項】

本資料に記載された株式会社ヨシックスホールディングスの計画・予想・戦略などのうち、歴史的な事実でないものは、資料作成時点に入手可能な情報及び株式会社ヨシックスホールディングスの経営者の判断に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。実際の業績は、経済動向、市場環境等によりこれらの計画、予想数値と大きく異なる場合がございます。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また本資料は株主、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

### 【お問合せ先】

株式会社ヨシックスホールディングス  
経営企画室

TEL : 052-932-8431 FAX : 052-932-8433

〒461-0025 名古屋市東区徳川1丁目9番30号

URL : <https://yossix.co.jp/>